

登米地域だより

R8年度 春号

登米の力

とめのちから

登米の地から



令和8年2月2日

みやぎ地域づくり団体協議会研修会

宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所地方振興部

みやぎ地域づくり団体協議会は、地域づくり関係団体相互の交流や情報交換等を通じて、地域づくり活動の活性化を図ることを目的に設置されています。この協議会は、県内7地域に支部が設置されており、当部が事務局を務める登米支部は、登米市内の民間団体と関係行政機関により構成されています。

今年度は、登米地域を会場に、地域づくり団体相互の交流促進を目的とした研修会が開催され、県内各支部の会員等35名が参加しました。

当日は、(有)伊豆沼農産(迫町)による地域の垣根を越えた連携事業の紹介や空き家を改修した簡易宿泊施設「伊豆沼レイクヒル天上」の視察、(一社)まちづくり

Maiya no mirai(東和町)による地域住民が主体となったまちづくり活動の紹介や空き店舗を改修したカフェ「PUBLIC SPACE モトハマヤ」の視察を行いました。参加者からは、「素晴らしい取り組みで、若者にどんどんこういったチャレンジをしてもらいたい」といった声が聞かれた他、講師からは「地域の一部の人だけでなく、若者やシニア層、公民館や学校、商工会等、様々な立場の人を巻き込んで“まちづくり”を進めていくべき」といったお話をいただきました。

当部では、今後も支部会員等を対象に、地域づくり等の知識及び見識を深めるための交流会の開催や情報提供を継続してまいります。



伊豆沼レイクヒル天上①



伊豆沼レイクヒル天上②



PUBLIC SPACE モトハマヤ



講演の様子

令和8年3月2日

豊里町・佐藤瑛彦氏 令和7年度全国麦作共励会 日本農業新聞会長賞受賞

宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所農業振興部

麦作の生産技術向上や経営改善の取組で、優れた功績のあった個人・集団を表彰する、令和7年度「全国麦作共励会」において、豊里町の株式会社エス・ティエフ代表取締役佐藤瑛彦氏が「日本農業新聞会長賞」を受賞し、令和8年3月2日に東京で表彰式が行われました。

佐藤氏は、スマート農業技術の積極的な導入や、実需者との直接的な交流によるニーズに即した小麦栽培の実践など、先進的な取り組みを展開されています。特に、生産技術の向上と経営改善を両立させた創意工夫が高く評価され、今回の受賞となりました。

3月16日に佐藤氏が宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所を表敬訪問しました。佐藤氏は受賞の喜びとともに、「今回の受賞は周りのみんなの協力によって受賞

することができた。今後もより品質の高い小麦生産に励んでいきたい。」と、これからの麦作への意欲を述べられました。



全国麦作共励会の受賞報告をする佐藤瑛彦氏

令和8年3月5日

登米和牛育種組合の現地検討会及び原種牛委員会

宮城県東部家畜保健衛生所

登米和牛育種組合は、県内和牛の主産地である登米市で、地域の特色ある牛づくりを目指し、優秀な系統牛を育種牛として設定し、種雄牛造成並びに母体となる繁殖雌牛集団の整備、地域の核となる系統の造成に取り組んでいます。

近年の取組の成果として、宮城県畜産試験場で飼養されている宮城県基幹種雄牛10頭のうち、「安百合幸」、「勝茂桜」、「勝勝久」の3頭が登米地域で生産された種雄牛です。

和牛育種組合では、登米地域の和牛改良の基礎とするため、登米牛としての特色を備えた優良な繁殖雌牛80頭を育種牛として認定しています。

3月5日(木)にJAみやぎ登米南方農産物集出荷場で現地検討会が行われました。

検討会には、令和8年度の新規育種候補牛のうち5頭を調査対象牛とし、組合員や関係者約40名が参加し、調査委員として全国和牛登録協会本部(京都市)から、穴田専務理事、山口総務部長にお越し頂き、調査牛の体格測定や体型審査、血統や産次の確認を行い、牛の改良が順調に進んでいるか、登米の育種牛として適格か等を参加者とともに確認しました。検討会后、山口部長から「第13回

全国和牛能力共進会に向けた今後の育種事業の方向性について」と題し、講演をいただきました。

3月12日(木)には、和牛育種組合の原種牛委員会が行われ、認定期間の満了や牛の死亡などにより21頭の育種牛が認定解除され、現地検討会に出品された5頭を含む、21頭の繁殖雌牛が新たに育種牛として認定されました。

和牛の育種は、牛個体の能力だけでなく飼養者の協力も不可欠であり、地域全体としての取り組みが必要です。

家畜保健衛生所では、これからも関係機関と連携し、登米地域の肉用牛生産振興を支援していきます。



調査委員による新規育種候補牛の調査

令和8年3月18日

登米地域「森林業」ガイダンス（FOREST JOB ハイスクール）

宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所林業振興部

令和8年3月18日、登米総合産業高校において、地域の森林業の仕事や進路について理解を深め、将来の進路選択のきっかけにしてもらうことを目的に、登米地域「森林業ガイダンス(FOREST JOB ハイスクール)」を開催しました。

生徒たちは、生物多様性の保全や地球温暖化の防止といった地球規模の問題から土砂災害の防止や雨水を緩やかに川に流すといった水源のかん養等、地域の防災に関することまで、森林の役割について学習するとともに、現場で働く先輩達の生の声を聞いて「森林・林業」への理解を深めました。

また、卒業後の就職だけでなく、より高度な知識と技術を身につけるため、「森林業経営学科」のある東北農林専門職大学の学生を講師に招き、進路としての森林業について情報提供したほか、チェーンソー伐倒の実演見学や丸太伐り体験を通して林業の仕事に触れてもらいました。

初の取組として実施した今回のガイダンスを通して、生徒たちが「森林業」を理解し、新たな職業や進路の可能性として認識してもらうことができました。

今後は、登米の森林業を担う人材として、森林組合等に就業し、活躍していただくことを期待しています。



ガイダンス(森林業の概要)



先輩作業班による「林業の仕事」



生徒の丸太造材体験

水難事故防止のお願いについて

～用水時期は特に危険です～

宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所農業農村整備部

農業水路やため池で、子どもたちが水遊びや魚釣りに夢中になり、水面に転落し、死亡する事故が後を絶ちません。

田んぼに水を供給する用水時期は、農業水路の水位が上昇し、流れも早くなるため、非常に危険です。

暖かい季節となり、子どもたちだけで遊ぶ機会が増えますので、子どもたちがフェンスなどを乗り越え危険な場所に立ち入らないよう、地域みなさんで声を掛け合うなど、水路やため池での水難事故を防ぎましょう。

土地改良区では、水路やため池の見回りや点検・補修等の対策を実施しています。



注意喚起リーフレット

県道古川登米線 善王寺道路改良工事完了

宮城県東部土木事務所登米地域事務所

県道古川登米線は、大崎市古川と登米市登米町を結ぶ延長30.6kmの路線であり、登米圏域と大崎圏域を結ぶ重要な幹線道路の一つです。

善王寺道路改良工事の事業区間は、急勾配でかつ見通しの悪いカーブが連続しており、大型車両どうしのすれ違いや歩行者の通行に危険な状況となっていました。

今回、延長L=500mの道路改良工事が完了しました。今回の工事により、車両の快適な通行と歩行者等の安全を確保し交通の円滑化が図られました。



着手前



着手後

☀️公式InstagramとX「ほっとめーしょん」で

登米地域の“ほっと”な情報を発信中です☀️

おすすめの食べ物や景色、施設のほか、季節のおすすめスポットなど、登米地域の様々な魅力情報を職員目線で発信しています。投稿内容は、「ほっとめーしょん」で検索していただくか、右記QRコードよりご覧ください！



Instagram



X (旧Twitter)